

HDMI 2.1 ソーステスタ

VA-1849



VA-1849はHDMI 2.1信号FRL(最大12Gbps/4Lane)とTMDS対応の検査装置です。
PC経由で制御や各試験項目をコマンドで設定することでソースDUTの計測・解析が可能です。
主に生産ライン、品質管理部門で自動検査を実現します。

特長

●シンク機能

ビデオ/オーディオタイミング、InfoFrame計測、およびHDCP 1.4、2.3の認証処理、EDID、SCDCの通信解析が可能。
非圧縮では最大8K/60p YCbCr 4:2:0 や4K/120p YCbCr 4:4:4の映像信号に対応。
DSC ONでは最大8K/60p YCbCr 4:4:4の映像信号に対応。
eARCの出力に対応。

●検査機能

内蔵パターンと入力パターンとの比較により、ビット落ちや色欠陥等プロトコル部の測定、FRLリンクトレーニングの自動検査にも対応(比較検査は4K/120pまで対応)。
入力信号の packets データが、本機に予め設定した期待値と一致しているか確認することが可能。
入力された音声信号が、本機に予め設定した許容値内に収まっているか確認することが可能。

●ソース機能

CTA-861-G、VESA Display Monitor Timing(DMT)に準拠した映像信号出力に対応。
InfoFrameは各パラメータを設定することで実行することが可能。
eARC/ARCの入力に対応。

●外部制御

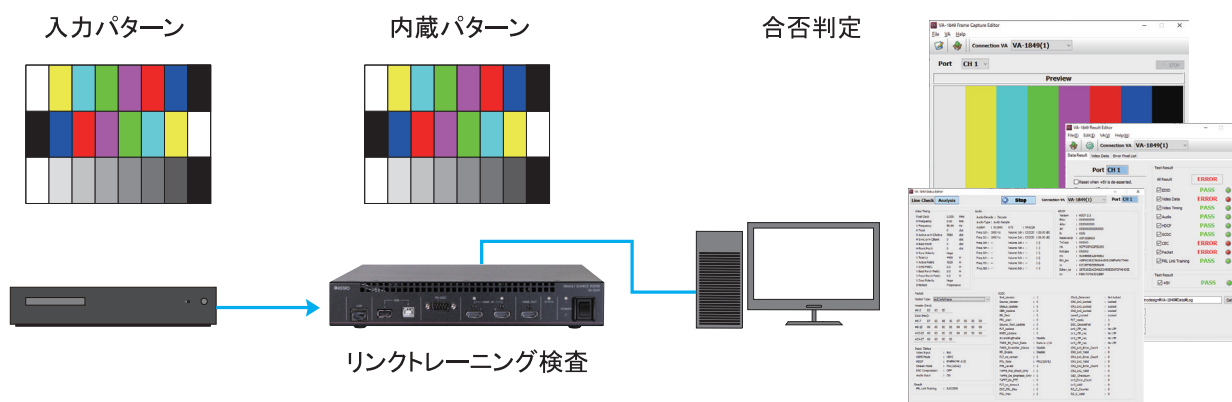
LAN、USB-TypeB、RS-232CでPCと本機を接続することにより測定結果、パラメータの設定等コマンドの送受信対応。
コマンドを組み合わせることによる、オリジナルの制御ソフトウェア開発が可能。

●結果・ログ保存

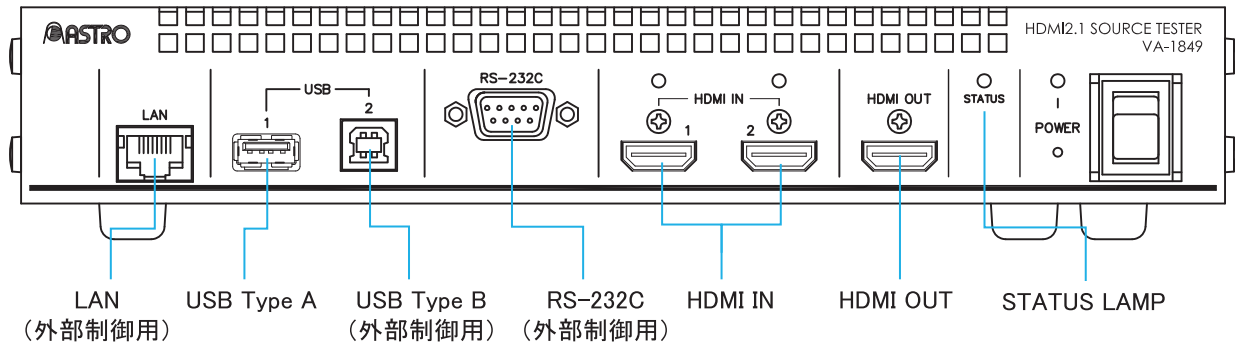
USBフラッシュメモリーに解析データとテストログを保存することが可能。

<比較検査の合否判定について>

カラーパレットから内部映像パターンを作成し入力映像パターンと比較することで検査ができ、
エラーピクセル値と色を(X,Y)座標とともに表示することにより、AとBの差を解析が可能。
カラーパレットは16色で、比較する色情報のパターンは3ライン分まで登録が可能。



外形図



仕様

HDMI入出力

映像	ドットクロック	TMDS 25MHz~2376MHz、FRL 3G3L/6G3L/6G4L/8G4L/10G4L/12G4L
	カラーフォーマット	RGB/YCbCr 4:4:4/4:2:2/4:2:0* ※YCbCr 4:2:0は、タイミング計測は可能であるが、映像データの比較検査には非対応。
音声	映像データビット数	8、10、12bit
	サンプリング周波数	32kHz~192kHz(L-PCM 2~8ch)
	フォーマット	IEC 60958、61937
	データ分解能	16、20、24bit
EDID		Ver.1.4(DDC2B)準拠
HDCP		Ver.1.4/2.3 準拠
eARC		入力、出力(ch2のみ)
ARC		入力
ポート数		2入力 1出力* ※2入力同時の場合はどちらか1入力を選択 1台で入出力機能を同時に使用できません。

外部制御

USB	Type A	USBフラッシュメモリーの接続に使用します。* ※USBフラッシュメモリーは付属品を使用してください。
	Type B	コンピューターと接続しターミナルコマンドによる制御を行います。
LAN		コンピューターと接続しターミナルコマンドによる制御を行います。
RS-232C		コンピューターと接続しターミナルコマンドによる制御を行います。

一般仕様

電源電圧	AC 100-240V
消費電力	48W MAX
動作温度範囲	0~40°C
動作湿度範囲	20~80%RH(結露なきこと)
外形寸法	270(W) × 44(H) × 270(D)mm(突起物含まず)
質量	約2.0kg

※) 本カタログに記載の仕様、外形などは改良の為に予告なく変更する場合があります。